

# ENŌKI

## えのき



**牛だあ！牛だあ！  
牧場へ行こう！**

5月12日、最高の外出日和。恒例の第15回「牛だあ！牛だあ！牧場へ行こう！」が行われました。それぞれの小学校から参加した児童たち。集合時にはよそよそしさも感じられましたが、バスの中では楽しく賑やかに過ごして、到着の頃にはみんな小学校の垣根を越え打ち解けていました。

最初のプログラムはバターづくりと牛についての学習です。「牛乳が取れるのは出産をした牛です。搾乳するために何度か出産させます。」「牧場にいる大人の牛はメスだけなんです。オス牛は牛乳が取れないので、二歳頃になると食肉になります。」「メスの牛も、とれる牛乳の量が少なくなる頃には食肉になります。お肉が硬いので、多くはひき肉に加工されるんですよ。」大人が聞いていても、改めて考えさせられる「命の授業」で、子どもたちにとっては、より貴重な時間であったと思います。また、その後のグループごとに分かれ行われた、搾乳、えさやり、子牛の授乳なども「命の授業」をふまえ、特別な気持ちをもって体験する事が出来ました。

昼食のバーベキュー、えさの梱包見学など午後のプログラム、帰路につくバスの中で行われたビンゴゲームまで、大きな事故もなく、楽しく一日を過ごし榎町地域センターに到着。

らくのう体験「牛だあ！牛だあ！牧場へ行こう！」は、以前より人気のある早稲田地区青少年育成委員会の事業ですが、今回引率として同行し、一人でも多くの子どもに体験をさせてあげたいと思いました。

# 榎町特別出張所

## 新所長あいさつ

この4月から榎町特別出張所長として着任しました小原良太(おはらりょうた)と申します。前職は、高齢者医療担当課高齢者医療係長でした。このほか区役所の業務は、福祉、地域活性化、友好提携都市・伊那市への派遣など幅広く経験させていただきました。



榎町地区と言えば、歴史あるお寺や神社が多くあることに加え、我が国を代表する文豪・夏目漱石をはじめ、名誉区民の草間彌生さんなど多くの文化人の方々が過ごされた田緒あるまちというイメージがありました。これに加えて、実際に着任して印象的なのは、榎町地区で暮らし、活躍されている方々の心の暖かさです。

よりよい地域にしたい、困っている人の役に立ちたい、子どもたちを健全に育てていきたいという熱意あふれる取り組みに込められた、穏やかで深い愛情。この地域に浸透しつつある「人にやさしいまちえのき」ということは、地域住民の皆さんの愛情や振る舞いが表れた、大変美しいものだと感じを受けました。

こうした地域で働かせていただくのは、公務員としてとても幸せに思います。微力ではありますが、出張所職員全員と力を合わせて榎町地区の発展に力を尽くしていく所存です。今後とも御指導及び御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 新主査あいさつ

4月から榎町特別出張所の主査として着任しました会田晋作(かいたしんさく)と申します。この度初めて本庁以外の職場に配属となり、とても楽しみにして異動してまいりました。



榎町地区の町を歩いた印象は、印刷業がとて盛んで、各会社が密集していること、また、集合住宅も含め、住宅が多く建っており、地域の方々も多く住まわれていること、商店街や個人商店もしっかりと地域に根付いている落ち着いた町であると感じました。

あつという間に数か月が過ぎ、たくさんの方々とお会いすることができ、また色々とお手伝いいただいたり、支えていただきながら仕事に取り組んでおります。地域に身近な特別出張所の一員として、地域の皆様のお役に立てるよう頑張つてまいりますので、よろしくお願いたします。

## 新職員あいさつ

この4月より、榎町特別出張所に新規配属となりました、宮田知明と申します。



出張所についてあまり知識のないままの配属となりましたが、現在まで3カ月ほど仕事をし、幅広い業務があることを知りました。日々新しいことに触れ、勉強の毎日を通しております。

また、最近では榎町地区を散歩する機会が増えました。公園や夏目漱石ゆかりの地を訪れ、地域の魅力を発見するたび、歩く楽しみが増しているように感じます。

至らないこともあるかと思いますが、いち早く仕事を覚え、皆様のお力になれるよう邁進しますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

鶴巻小学校

# 町たんけん

鶴巻小学校では、5月17日(金)、地域の方々に協力いただき、社会科の学習の一環として、3年生が町たんけんに出かけました。

地域協働学校の皆様と一緒に町の様子を調査し、さらに天祖神社・元赤城神社・大隈講堂・印刷工場では解説もしていただきました。

「そんなに古い歴史があるんだ。」「これが空襲の焼け跡か、すごいな。」「自然に生えている早稲田みようが、はじめて見た!」「昔は、ここに川が流れていたんだね。」

地域の方の説明を受け、質問等する中で、普段行き来している場所でも、知らないことがたくさんあることに気が付きました。また、今回の活動を通して、地域の様子だけでなく地域の方の思いも知ることが出来ました。

見学後は、分かったことをカードにまとめ、みんなで一枚の「わが町、鶴巻!」と題した地図を作りました。そして、それらをもとに、地域の様子について考えをまとめました。鶴巻の特徴をつかむことはもちろん、地域への愛着もさらに深めることができました。

ご協力いただいた施設の方々、地域の方々、ありがとうございました。

これからも学校、家庭、地域が一緒になって子供たちの豊かな学びの環境をつくっていききたいと思います。

地域を愛し地域に愛される、豊かな心溢れる鶴巻小学校の子供たちを今後ともよろしくお願致します。



# 藍染め体験

江戸川小学校

江戸川小学校の3・4年生は、中里町にある藤彩染色工房の工藤博さんにご指導をいただき、藍染め体験の授業を行いました。地域の様子や産業の勉強をする3・4年生にとって新宿区の地場産業である染物の体験は、とても貴重な機会となりました。また、この体験で作成したシャツは運動会の表現種目である「新・江戸川ソーラン」で着用することも決まっていた。運動会で、遠くから見ていても、よく見えるような素敵なシャツを作ろうと、子供たちも意欲満々で取り組みました。

体験の当日は夏を思わせるような暑い日でしたが、工藤さん指導のもと、地域の方にお手伝いいただき、校舎の屋上で50名の子供たちが製作に取り組みました。

その成果は、運動会で披露されました。それぞれの個性豊かな衣装が踊りを更に盛り上げていた、との感想が多数寄せられました。



早稲田小学校

## 「元気なスタート！朝あそび」

平成28年度に始まった我が校の朝あそび。現在は地域協働学校運営協議会による活動として毎月2回ほど午前7時40分～8時10分に行われています。

子どもたちは開始直後からやってきて、手早く受付を済ませて決められた場所にランドセルを置く、思い思いに校庭に広がっていきます。遅れてきた子は友達を見つけて声をかけ、すぐにあそびの仲間入り。慣れた上級生はボールを持ってまっすぐにバスケットゴールに向かいます。縄跳びや雲梯に挑戦する子の目は真剣そのもの。その子なりの新記録を目指しているのでしょうか？ 疲れたら体育館の脇でひと休み……しかしすぐに復活し、遊びに戻っていきます。入学したばかりの1年生だつて負けていません。黄色い帽子をかぶったままジャングルジムに登り始めます。時間を経るごとに人数が増えていき、8時には何十人も子どもたちが校庭を賑わせていました。子どもたちが安全に楽しく遊ぶためには、見守る大人の存在が不可欠です。協議会のメンバーが運営していますが、地域の方々のお手伝いも募集しています。例えば後半15分でも見守る大人が増えれば、その分安全な運営につながるのです。

朝あそびにはいいことがいっぱいあります。朝から元気に遊ぶと心と身体が活性化され、その後の授業への集中力も高まります。早起き習慣のきつかけにしても良いでしょう。大人だつて眠気が吹き飛び、オフィスのデスクの前でぼーっとする時間が減らせますね。

そして、運営の中心人物であるスクールコーディネーターの染谷さんは「見守りが欲しいのも確かだけど」と前置きしつつもこう強調します。

「日中忙しく働いていてなかなか子ども姿を

見られないお父さん方に、出勤前の10分間でも立ち寄ってもらうことで、子どもたちが元気に遊ぶ姿を見てもらえたら嬉しい」  
なるほど、確かに少しだけ家を出る時間を早めれば、お子さんと一緒に貴重な時間を持てそうです。







早稲田地区

青少年育成委員会

# 夏休み 秋のイベント

\*催しの日時、場所などは変更になる場合があります。

## 牛込二中えんにち & カレーライスを楽しむ会

～暑い夏 カレーライスで元気になるう！  
ゲームやえんにちを楽しもう！～

**日時** 7月20日(土) 午前10時～午後1時

カレーライスは午前11時30分～

**場所** 牛込第二中学校

\*うわばきを持参してください

えんにち かき氷 ヨーヨー ポップコーン  
ゲーム 工作教室 ほか

## 夏休み工作教室

～空間をユラユラまわる  
気球のモビールを作ろう～

**日時** 8月9日(金) 午後1時～3時

**場所** 榎町地域センター4F多目的ホール

**参加費** 100円 \*参加費は当日徴収します

**持ち物** ハサミ・ラジオペンチ

**対象** 小学生・中学生・一般(50名)

**申込み** 育成委員・榎町特別出張所  
7月31日(水)までTEL(3202)2461

## スポーツ交流会

### ユニカール・輪投げ

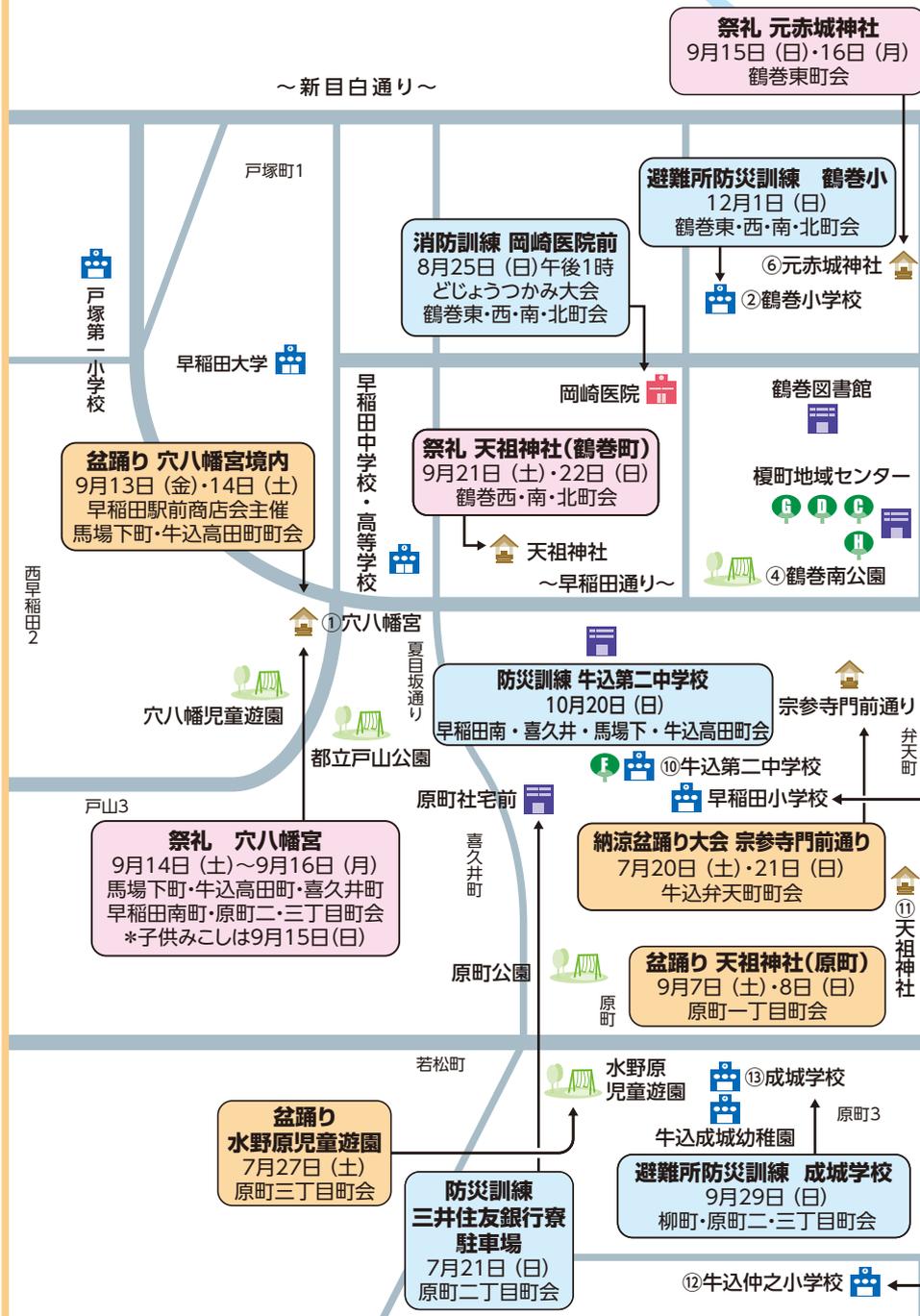
① 7月21日(日)	午前10時～12時
② 8月 4日(日)	午前10時～12時
③ 8月18日(日)	午前10時～12時
④ 9月 1日(日)	午前10時～12時
⑤ 9月15日(日)	午前10時～12時
⑥ 10月 6日(日)	午前10時～12時
⑦ 10月20日(日)	午前10時～12時

①～⑥ 会場: 榎町地域センター4F 多目的ホール

**参加費** 無 料

**申込み** 必要ありません  
当日会場にて受付 上履き持参

**主催** わせたスポーツ・文化協議会



## 早起きして 家族みんなで、ラジオ体操に参加

①穴八幡宮境内	7月21日(日) ～7月31日(水)	馬場下町会、牛込高田町会
②鶴巻小学校	7月20日(土) ～8月2日(金)	鶴巻北町会
③山吹町311番地先	7月21日(日) ～7月31日(水)	東山吹町会
④鶴巻南公園	7月21日(日) ～8月3日(土)	鶴巻西町会・鶴巻南町会 早稲田町町会
⑤山吹高校前	7月21日(日) ～8月3日(土)	山吹町会
⑥元赤城神社	7月21日(日) ～8月3日(土)	鶴巻東町会
⑦榎町公園	7月22日(月) ～8月3日(土)	榎町・東榎町・中里町 天神町・天神東町会

# 東京初空襲余談 5

榎町 大竹良重(満九一歳)

学校への届出を済まし、当日指定の時刻に早稲田警察署(今の原町三丁目)で、大久保通りに面したところ、現在パチンコ屋さんになっている辺りに

あった)に行き、公用車に署長と同乗して、警視庁に向かった。講堂には、大勢の人が集まっていた包帯姿の人も目立った。個人的な推定に過ぎないが、包帯姿の方は爆弾による負傷者で講堂に整列した位置から川崎方面の方

と思つた。緘口令が敷かれた訳ではないが、当時の日本人の常識で、空襲被害に関わる話題は御法度と肝に銘じていた。講堂内の私語は殆んど無かつたと思ふ。「御下賜料」は警視總監から署長が壇上にながらつて賜つた。この際、署長名で呼ばれたか、私の名か憶えていない。恐らく前者だと思ふ。私には署長から手渡しされた。袋は右肩に「天皇・皇后両陛下」と記され、

左下に私の氏名が書かれていた。御下賜料は「御菓子料」であつた。水引の色は紫と白である。行き帰り、公用車で署長の隣にちんまりと座つていた訳であるが、緊張して、どの様な会話を交わしたかは全く憶えていない。ただ、帰りは賜つた「御菓子料」の事を話題にしたと思ふ。

これは、昭和17年春の事で、日本軍は南方の要衝の全てを確保していた時である。この時期は未だ、神聖な帝都上空が敵に侵されたということ自体が有史以来の恥辱と言ふ思いが一般にあつた。軍部には特に強かつたと思う。大東亜戦争(太平洋戦争)は、まだ始まつたばかりであつた。

尚、敵国米国では、この年(1942年)の9月には、大型長距離爆撃機「B29」の試作第1号機が初飛行している。日本国民にとつての「悪魔」が正に生まれようとしていた。日本の軍部がどの程度この情報を掴んでいたかは不明である。

とにかく、「御菓子料」が下賜された時期は、未だ、B29による空襲の悲惨さを予想も出来なかつた時代である。

昭和18年、19年となるに伴い、戦局は日増しに悪化し、昭和19年にはサイパン島をはじめとしまリアナ諸島の要衝を死闘の末に次々と失つた。ここを基地化したB29によつて、昭和19年11月以降には日本本土への直接来襲がひんぱんとなつた。昭和20年に入ると、本土は昼夜の別なく空襲に曝されることになり、その都度、多くの犠牲者が出るようになった。

東京都市部に限つても、11月以降戦争終結までに主なもので41回もの空襲を受けている。3月の東京大空襲、5月の山手空襲が含まれている。この時期にはもう、「御菓子料」のことは、過去の別世界の出来事として忘却の彼方に去つていた。

東京都では、空襲による一般人の死者行方不明者合わせて約12万3千人を出して終戦の時を迎えた。平和が訪れて空襲の悪夢から覚めたが、「空襲犠牲者数の大きさ」は、「御菓子料」の存在を「心の負担」に一変させた。この負担の軽減は

「口外無用」を貫くことであつた。この自戒は今日までずっと続けてきた。これが文頭部分で述べたことの真意である。

参考：本土初空襲についての記録

戦後の防衛庁戦史室の記録は、死者45名、負傷者約400名、全焼家屋160戸、半焼家屋129戸、攻撃を受けた箇所 数十カ所

別の資料では、

死者87名、重傷者151名、

軽傷者311名以上

家屋全壊・全焼112棟(180戸)以上

半壊・半焼53棟(106戸)以上

東京初空襲余談 終

補記：(御菓子料のこと)

昭和20年5月25日の空襲で、自宅が焼夷弾で全焼した際は、私自身、何一つ持ち出せず全ては焼失したと思つてた。避難所に入り、息ついた時、母が私の製図器械セットと、10寸計算尺を取り出した。息子の大事な物をという母の気持ちに目頭が熱くなつた。

驚きはまだあつた。私がとつと忘れ去つていた「御菓子料」の袋を胴巻きにいれて持ち出していた。今、此処にある「御菓子料」の袋は、炎の中、亡母が腹に巻いて持ち出した物として、私にとつて大事なものである。(これは今日まで肉親以外に見せたことはない)袋は全般に黄ばみ、角々は傷んで、水引きの紫は変色して黒く見えるが、墨書はしっかり残っている。以上

## 榎町地域センター管理運営委員会総会

令和元年5月17日(金)午後7時より、榎町地域センター4階多目的ホールにて、平成31年度「榎町地域センター管理運営委員会定期総会」が開催されました。

総会において、平成30年度事業報告、決算報告、監査報告、平成31年度事業計画案、同予算案、および榎町地域センター管理運営委員会事務補助員就業規程の一部改正が全て承認されました。



# みんな集まれ釣り大会

6月16日(日)に、市谷フィッシングセンターに於いて、第18回「みんな集まれ！釣り大会」が行われました。小中学生の参加は224名、大人の参加は225名。総勢449名でした。当日は梅雨時にもかかわらず晴天となり、30度を超える暑さでした。この日は「父の日」でもあり、お父さんの参加も多く、親子で鯉釣りを楽しみました。

大会では、参加した子どもたちが90分間にどれくだけの重さの鯉を釣り上げることができのかを競い合います。低学年は、釣り上げた鯉が針から取れず、お隣どうしで互いにサポートしながら苦戦していました。

今回は早稲田大学の学生さん8名がスタッフに加わり、大会は大盛況で終えました。



## みんな集まれ釣り大会

### 小学生の部 入賞

優勝	牛込伸之小五年	石川貴也	10.0 kg
第一位	江戸川小五年	柳田夏希	9.5 kg
第三位	鶴巻小四年	今枝佑介	9.0 kg
第四位	早稲田小六年	劉 小溪	8.0 kg
第四位	早稲田小三年	酒井愛莉	8.0 kg
第六位	江戸川小二年	三森 柊介	7.5 kg
第七位	鶴巻小六年	山下 大雅	7.0 kg
第七位	早稲田小五年	田代 開清	7.0 kg
第七位	牛込伸之小二年	宮本 悠	7.0 kg

### 中学生の部

優勝	牛込二申年	千秋 優衣	2.5 kg
----	-------	-------	--------

主催 早稲田地区青少年育成委員会



## 高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

○榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況

1 令和元年度「グラウンドゴルフ大会」の成績  
 ① 第35回 区高連グラウンドゴルフ大会が令和元年5月28日(火)戸山多目的運動広場において、参加40チームで開催されました。

榎地区からの参加チームは7チームで、早稲田永楽会が137点で第7位に 入賞いたしました。

おめでとうございます。

他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)

- ・原あゆみ会、山吹会、原二わらく会、柳町すみれ会、
- ・弁天町和老クラブ、薬王寺長寿会。以上 (資料提供：新宿区高齢者クラブ連合会)

2 令和元年5月現在、榎地区には19の高齢者クラブが活動しています。

(左表参照)

皆さんもお近くのクラブに入会して生活に彩を添えてみませんか。近隣に住まう仲間としてお互いに楽しく助け合って活動しましょう。

○入会資格 区内在住の58歳以上の方

○入会の相談先

- ・区役所 福祉部地域包括ケア推進課 高齢者いきがい係
- ・近隣の高齢者クラブ役員、会員

(○不明の場合には、お近くの町会役員にお問い合わせ下さい。)

### 榎地区高齢者クラブ一覧表

令和元年5月現在

クラブNo	クラブ名	対象地域	クラブNo	クラブ名	対象地域
22	榎町友の会	榎町、東榎町	34	第一友鶴会	鶴巻町東町会東部
23	原一あゆみ会	原町二丁目	35	第二友鶴会	鶴巻町東町会西部
24	水の原クラブ	原町三丁目	125	薬王寺長寿会	市谷薬王寺町
25	白寿会	喜久井町	127	牛込心友会	天神町
27	弁天町和老クラブ	弁天町	130	あかぎ友の会	赤城下町
29	山吹会	山吹町	141	原二わらく会	原町二丁目
30	早稲田クラブ	馬場下町、早稲田町	147	新宿区高老人六ツ曇会	新宿区全域
31	西鶴クラブ	鶴巻町西町会	149	柳町すみれ会	市谷柳町
32	早稲田長寿会	鶴巻町南町会	157	早南クラブ	早稲田南町
33	早稲田永楽会	鶴巻町北町会			

(資料：新宿区高齢者クラブ連合会資料より抜粋)

# えのき文芸



令和元年第一日の太陽に乾杯す

青木 久彌

風鈴を鳴らして見せる乙女かな

大籠 紀子

蒔いたはずの松葉牡丹がでてこない

北野 明治

庭先の手を焼くカタバミ花可憐

滝口 泉

明日と云ふ手つかずの日よ風薫る

原 綾

介護帰省紫陽花飾り笑顔見る

山口 敏子



耳遠しますます近き彼の鼻

磨くべししわにアイロンかけられぬ

大籠 紀子

れいわですれーわでなくていが入る

二千万不足なってみるまで解らない

菅野 あきら

平成を無事生き抜いて見る令和

理不尽に心痛める事故事件

小山 一湖

ウトウトと時の記念日後で知る

待ってますオリピックに新紙幣

田実 孜

戦争を知らぬ輩が目を剝くな

青木 久彌

診察券コレクターかと自慢顔

滝口 泉

## 短歌



「予科練へ行く」「ナニ、それ」と驚けり

我が親友征きて遂に還らず

青木 久彌

木漏れ日がふって来そなた夕暮に

ひとりベンチで時をわすれて

奥瀬 イチ

男衆掛け声揃え大神輿

担ぐ半被に汗の染み入る

加藤 千代子

緑葉の下にむれ咲くやまぶきの

花くき立たせ日々を咲きつぐ

金成 光祥

甕星の猛き神さえ包み込む

天に輝く織姫の星

滝口 泉

わが生れし越の山里草萌える

百二の母より元気いただく

中村 道雄

朝日受け静かに進む田植機に

早乙女も無く郭公が鳴く

山口 敏子

## 広報部からのお知らせ

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供など榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は「秋」、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、9月10日(火)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042  
新宿区早稲田町85  
TEL(3202)8585  
FAX(3202)2478

## 榎地区協議会委員募集

榎地区協議会は住民の皆様  
の意見を集約し、また行政の方  
針を検討し、地域の考えを区政  
に反映していく窓口として、が  
んばっていきます。

### ●お問合せ・ご応募

榎地区協議会担当(榎町特  
別出張所内)まで  
〒162-0042  
新宿区早稲田町85  
榎町特別出張所内  
TEL(3202)2461  
FAX(3202)2476